

「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	養老町	学校名	養老町立広幡小学校			
校長名	豊島 博	対象学年	全学年	人数	101名	
活動名	ふるさと広幡を誇りに		時間数	1年・2年：35時間 3年～6年：70時間 全校：3時間	継続年数	26年
題材	① 自然環境（河川・動物・植物）[金草川・水生生物,水質調査・ハリヨ・地域の草花,自然] ② 歴史（出来事・史跡・先人・その他）[源氏橋・九里半街道・田中道麿] ③ 文化（芸能・民話・風習）[広幡音頭・六社神社祭り・ふるさと広幡] ⑤ 絆を深め,よりよいふるさとをつくる活動 [広幡ふるさとオリエンテーリング・敬老会・地域清掃活動・公民館春祭り]					
複数年継続するための工夫改善	○生活科,総合的な学習の時間を中心に「ふるさと学習」のテーマを設定している。昨年度の結果から,人とのつながりを重視するよう年間指導計画を見直し,実践を行った。 ○「ふるさと学習」で学習したことを発表する場「広幡ふるさとオリエンテーリング」を計画的（3年サイクルで校区を一巡）に位置付け,地域にも広めている。 ○ユネスコスクールとして,「ふるさと学習」での取組を他県の学校と情報交流して学び合う機会を指導計画に位置付け,実践を始める。					
<p>1 ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史や伝統文化に関する理解と関心を深め,自分たちの住む地域に誇りと愛着をもつことができるようにする。 ・自ら学ぶ力や生活に生きて働く力,自分の思いを人に伝える力など,生涯を通じて学び続けるために必要な力を育成する。 <p>2 活動の概要</p> <p>全校：「広幡ふるさとオリエンテーリング」「広幡音頭」「地域清掃活動（ピカリーン活動）」縦割り班（広幡班）で地域を回り,各学年のふるさと学習で学んだことをオリエンテーリングの各ポイントで説明しあったり,地域の方に教えていただいたりすることを通して,地域の歴史や産業についての理解を深める。地域の方に踊りを教えていただき,広幡盆踊りや,ふるさと秋祭り広幡町民運動会で,地域の方といっしょに踊りを発表する。地域の清掃活動を地域の方と共に行うことを通して,地域の環境を守る心を育てる。</p> <p>6年：「ふるさとの偉人に学ぶ」 江戸時代の国学者「田中道麿翁」について調べるとともに,その成果を地域の方々の前で発表する活動を通して,地域への愛情を育む。また,ふるさと学習の成果を他校と交流することにより,互いのふるさとの素晴らしさに敬意と誇りをもつことができる。</p> <p>5年：「広幡の自然に学ぶ」（はりんこタイム） 広幡地区にすむ「ハリヨ」の生態や,水生生物と水質の調査を行い,広幡地区の自然を守ろうとする心を育てる。</p> <p>4年：「広幡地域と水のかかわり」（はりんこタイム） 輪中地域や現在の広幡地区の利水の様子を調べ,水との関わりを理解する。また,水とのつながりの歴史を学習し,先人の営みに誇りをもつ。</p> <p>3年：「ふるさと広幡」（はりんこタイム・地域探検・地域の人と交流） 地域を探検して地域の様子を知るとともに,公民館活動等に参加し,地域の人とともに活動して,地域の方とのコミュニケーションを深める。</p> <p>2年：「ぼく・わたしの町じまん」（生活科・地域探検） 地域を探検して見つけた町のお気に入りや興味をもったことについて調べ,全校児童や教師・保護者・地域の人に伝える。</p> <p>1年：「広幡の自然となかよし」（生活科・保小交流） 学校の周りや地域の公園,神社などに出かけ,季節の自然のお気に入りを探したり,自然を生かした遊びを工夫して保育園児と交流したりして,自然を生かした遊びを自分たちの生活に取り入れる。</p>						

3 地域住民との関わり, 地域社会への貢献の様子

- ・このような活動の結果, 広幡小学校の児童は, 地域の活動に積極的に参加し, (27年度も全国学力状況調査で地域の行事に積極的に参加していると答えた児童の割合は100%), 「広幡が大好きだ」と言える児童の姿につながっている。地域の方にもこうした学校の取組が広がり, 学校に対する温かい支援が増えてきている。コミュニティ・スクールの一貫として, ボランティアの登録も含め, 学校の授業や行事, 様々な活動に様々な形で参加して学校を応援してくださっている。
- ・1年生は, 安全な登下校のために交通安全協会の方に交差点の渡り方を教えていただいたり, 2年生・3年生の地域探検の学習では, 公民館長さん・区長さんが中心となって積極的に町を紹介していただいたり, 4年生・6年生の地域学習では, 地域ボランティア講師に水との戦いや輪中の暮らし(4年生)・田中道麿の生き方や広幡の史跡(6年生)等を教えていただいたりした。
- ・児童会が中心となって地域清掃活動を企画し, 全校児童が地域の方と共に清掃活動を行った。広幡夏祭り盆踊り(8月), 広幡敬老会(9月), 町民運動会(9月), 広幡春祭り(3月)に子どもたちが参加し, 公民館学級生とのふれあいの中から学んだことを発表し(3年生), 公民館春祭りでは, 1年間の学習の成果を発表(1年生)や作品(全校)で紹介するなどして参画している。また, 他県の学校と交流することで, 他の学校での地域との関わり方や活動について学ぼうとしている。

4 活動による児童生徒の変容(伸長・成長等)

- ・こうした活動を続けることで, 地域との関わりが増え, コミュニティの一貫であるという自覚が芽生えている。本年度よりユネスコスクールになったことにより, 地域や自分のふるさと学習に誇りをもつ心がさらに育ちつつある。
- ・1, 2年生では, 地域の素材と繰り返しかかわる中で得た学びを, 保育園児や教師, 地域の人に伝える活動を通して, 改めてふるさとのよさに気付き, 自ら学ぶ力を身に付けることができた。3年生では, 町探検の中で出会った地域の人との交流を深める中で, 人と人との温かいつながりに気付き, 「ふるさと広幡」に親しみをもつことができた。4年生では, 水害との戦いを地域の方が熱く語られたことにより先人の苦労を知ること, 先人の努力に感謝し, ふるさとを大切にしたいという心情をもつことができた。5年生では, 地区の自慢のハリヨの生態を学び, 水生生物調査や水質調査を行って現状を知ることを通して, 環境に恵まれているからこそ未来の環境を守る必要性を十分に理解できた。6年生では, 地域の歴史を調べる活動を通して改めてふるさと広幡のすばらしさに気付くとともに, 田中道麿翁の「よく働き, よく学び, 夢を実現させていく」生き方から, 「自分たちも夢をもって前へ進んでいきたい」「生涯を通じて学び続けていきたい」という願いをもつことができた。